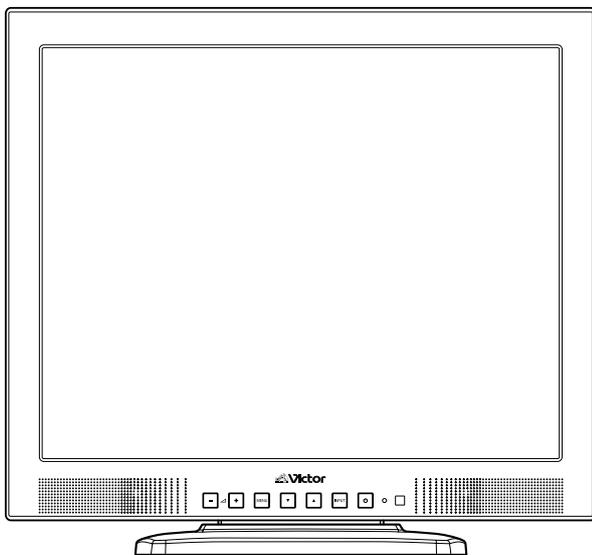


液晶ディスプレイ

型名 **GD-19L1**
GD-17L1

取扱説明書



目次

	ページ
安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部のなまえと使いかた	6
設置	9
基本接続	10
基本操作	11
メニュー機能の使いかた	13
故障かなと思ったら (トラブルシューティング)	18
主な仕様	19
保証とアフターサービス	21

お買い上げいただき、ありがとうございます。
 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 お読みになったあとは、後日調べたいときのために大切に保存してください。

安全上のご注意

「安全上のご注意」は、本機全般に共通する内容を記載しています。

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



注意

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



手をはさまれないように注意



感電注意



ケガに注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線をつなぐ



警告

万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- 本機の内部に水や物が入ってしまったとき。
- 本機を落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



一般的注意



電源プラグを抜く



一般的注意

転倒防止の処置をする

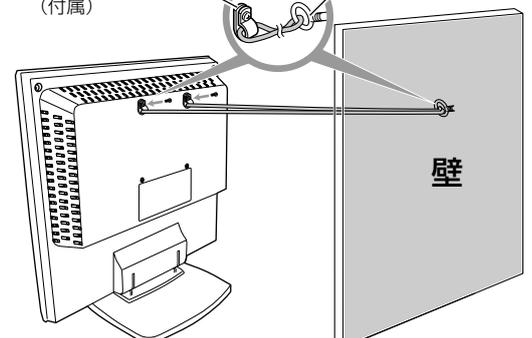
地震などで転倒すると、けがの原因となることがあります。転倒を防止するために図のような処置をしてください。

付属の転倒防止用フックを本体背面のVESAマウント穴に取り付けます。取り付けしたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定してください。

壁または柱に固定するとき

転倒防止用フック
（付属）

市販のフック



壁

安全上のご注意 (つづき)

警告

設置するときの警告

● 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



禁止

● 本機の通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となります。次のことにご注意ください。

- ・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・テーブルクロスなどを掛けない
- ・横倒し、逆さま、あお向けにしない



禁止

● 指定の電源電圧 (交流 100V) 以外で使

用しない
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

● コンセントの近くに設置する

コンセントの近くに設置してください。そして、そのコンセントの周辺は電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。本機は電源プラグをコンセントに差し込むと、電源「入」または「スタンバイ」の状態になります。⏻ (電源) ボタンで電源を完全に切ることはできません。



一般的指示

● 壁や他の機器と間隔をあけて設置する

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のことに注意してください。

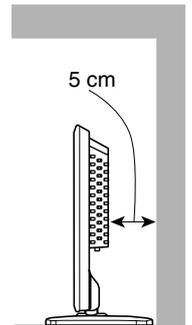
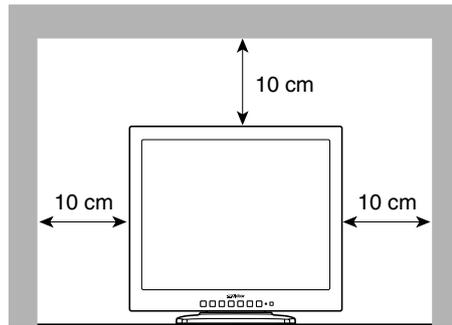
- ・壁や家具などから 10cm 以上離す
- ・他の機器との間隔をあける
- ・ラックなどに入れたときは、右図のように機器の天面から 10cm 以上、背面 5cm 以上すき間をあける



一般的注意



一般的指示



注意

設置するときの注意

● 次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所
- ・熱器具の近く
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

また、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットや液晶パネルが変質することがあります。



禁止

● 付属の電源コード以外を使用しない

性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。



禁止

● 機器との接続がすべて終わってから電源プラグ

をつなぐ
コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、本機の電源コードは本機につないでから、壁のコンセントに差してください。



一般的注意



一般的指示

● 電源コードを抜くときは壁側のコンセントから

抜く
壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。

電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、本機側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグを抜く

安全上のご注意 (つづき)

⚠️ 注意

設置するときの注意 (つづき)

- 本機の上に他の機器を載せたまま移動しない
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

- 移動するときは接続コード類を外す
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、接続コードなどを外してください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。
運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。特に液晶パネルには気をつけてください。



電源プラグを抜く

- キャスター付きの台に乗せるときは、キャスターを固定する
キャスター止め (受け皿など) で動かないようにしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



一般的注意



一般的指示

- 安全アースを接続する
安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。
電源プラグから出ている緑色のアースリード線を建物に備えられているアース端子につないでください。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。



アース線をつなぐ

- 本体パネルの下部を持って前後に傾けない
本体パネル部分の下部中央部を持たないでください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。
また、無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。



ケガに注意



手をはさまれないように注意

⚠️ 警告

使用するときの警告

- 本機の内部に物を入れない
金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。金属類や燃えやすいものが入ると、火災・感電の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。



禁止

- 電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。電源コードを傷つけると、火災・感電の原因となります。
電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない
ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



禁止



一般的指示

- 本機に水をかけない
風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器 (花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など) は、こぼれたりしますので、本機の上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは特にご注意ください。



水場での使用禁止



水ぬれ禁止

- 本機の裏ぶた (カバー) は外さない
本機の内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



感電注意

- 本機を改造しない
火災・感電の原因となります。



分解禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



接触禁止

安全上のご注意 (つづき)

⚠️ 注意

使用するときの注意

● 本機の上に物を置かない

重いものや本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

● 本機の上に乗らない、ぶら下からない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。



禁止

● 付属の電源コードを他の機器に使用しない

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

● 電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となることがあります。



一般的指示

● 根元まで差し込んでみゆるみがあるコンセントには接続しない

発熱して、火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



禁止

● 電源プラグはコードの部分を持って抜かない
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



禁止

● めれた手で電源プラグを抜き差ししない
めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

● 長期間本機を使用しないときは、電源プラグを抜く
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く

● お手入れをするときは電源コード(電源プラグ)を抜く
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

● 5年に一度は本機内部の掃除を販売店に依頼する

本機の内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。



一般的注意

使用上のご注意

見る場所について

- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ることも目を疲れさせますのでよくありません。ときどき目を休めてください。
- 設置状況や環境によって画像が揺れるときは、使用しないでください。視力低下の原因となります。

残像現象について

- 静止画を長時間表示していると電源を切ったり、画面を切り換えても映像がぼんやり映っていることがあります。この残像現象はしばらくすると消えます。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。

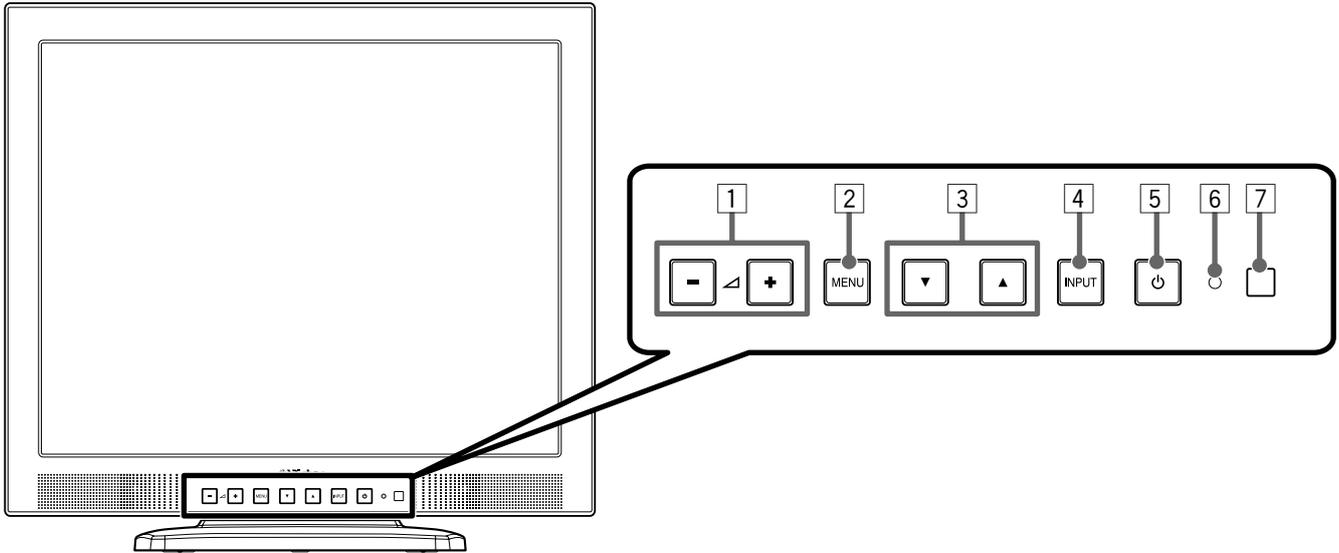
お手入れのしかた

- キャビネットの汚れは
柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
- 液晶パネルの汚れは
柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、市販の「液晶用クリーナー」を使用してください。
- キャビネットや液晶パネルが変質したり、傷付いたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
 - ・ 堅い布でふかない
 - ・ 強くふかない
 - ・ シンナーやベンジンでふかない
 - ・ 殺虫剤など揮発性のものをかけない
 - ・ ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

■各部のなまえと使いかた

本体

<前面操作部>



1 +/−ボタン

音量調節ボタンです。

- ・メニューを操作しているときは、調節画面で設定値を調節します。

2 MENUボタン

メニュー操作に使うボタンです。

- ・MAIN MENU画面を表示させるときに押します。
- ・サブメニューを表示しているときに押すと、選んでいる項目の調節画面を表示させます。
- ・調節画面を表示しているときに押すと、設定値を決定し、サブメニューに戻ります。

3 ▼/▲ボタン

メニュー画面で項目を選ぶボタンです。

- ・メニュー画面を表示していないときに▲ボタンを押すと、パソコン信号の自動調節を行います。(12ページ参照)

4 INPUTボタン

入力選択ボタンです。押すごとに入力が切り換わります。



入力	選択している入力端子
PC	PC端子
Video	VIDEO端子
Y/C	Y/C端子
Component	Y/B-Y/R-Y端子

5 ㊦ (電源)ボタン

本機の電源を「入」/「切」します。

6 電源ランプ

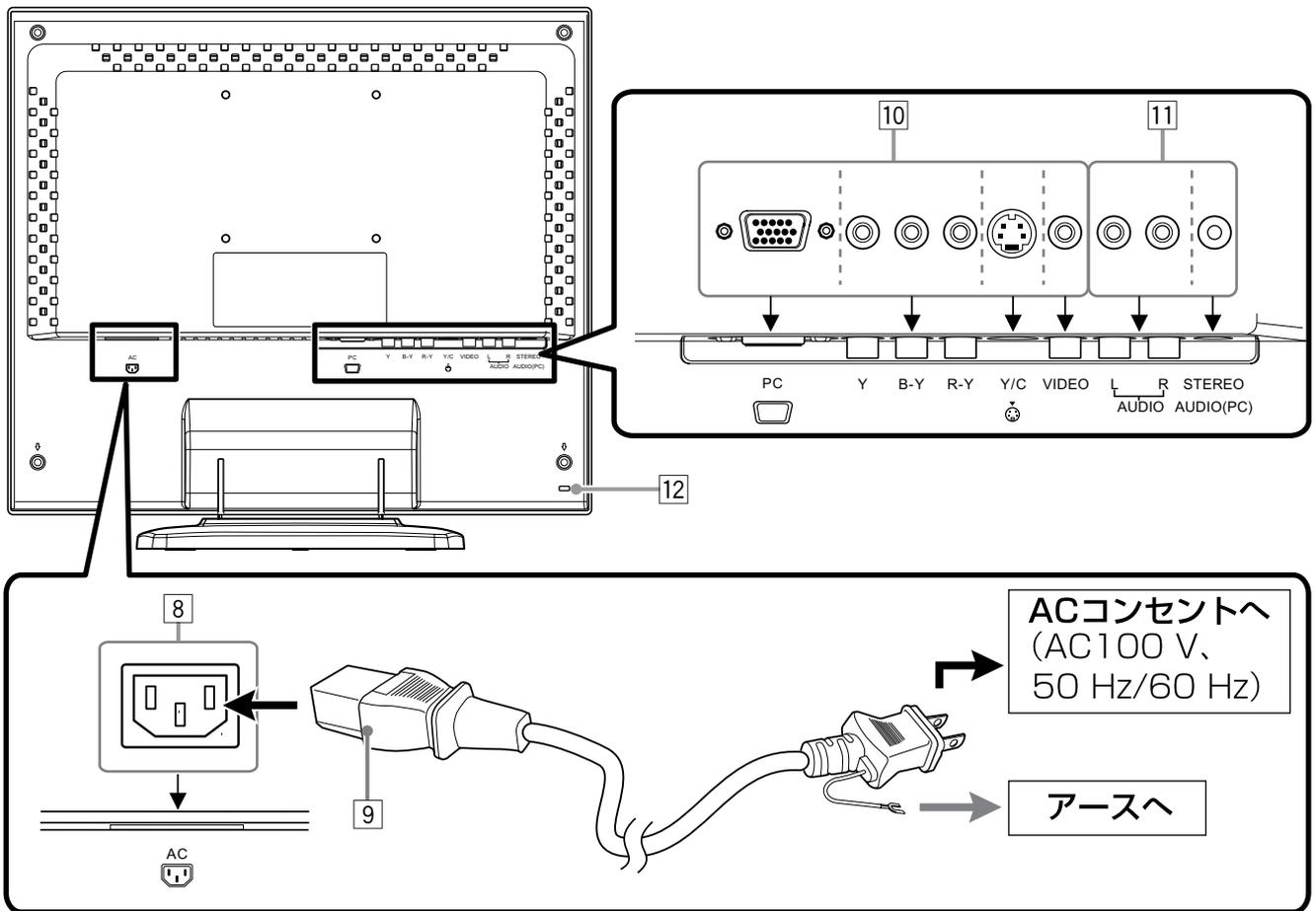
- ・電源が「入」のとき: 緑色(点灯)
- ・スタンバイモードのとき: オレンジ色(点灯)
- ・省電力モード*のとき: オレンジ色(点滅)

* 電源が「入」で、入力信号がない状態、または規格外の信号が入力されている状態が10~15秒前後続くと、画面が消えて省電力モードになります。

7 リモコン受光部

リモコンの先端をここに向けて操作します。

<背面端子>



8 AC端子

本機の電源入力端子です。付属の電源コード(9)でACコンセント(AC100 V、50 Hz/60 Hz)に接続します。

9 電源コード

電源入力端子のAC端子とACコンセント(AC100 V、50 Hz/60 Hz)を接続する電源コード(付属)です。プラグから出ているアース線を建物に備えられているアース端子に接続します。

10 映像入力端子

PC端子

パソコン(PC)からの映像信号の入力端子です。

Y/B-Y/R-Y(コンポーネント)端子

コンポーネント映像信号の入力端子です。

Y/C端子

S映像信号の入力端子です。

VIDEO端子

映像信号の入力端子です。

11 音声入力端子

AUDIO L/R端子

音声信号の入力端子です。映像入力端子(Y/B-Y/R-Y端子、Y/C端子またはVIDEO端子)に接続した機器の音声出力端子につなぎます。

AUDIO (PC) STEREO端子

パソコンからの音声信号の入力端子です。

12 ケンジントン・セキュリティ・スロット

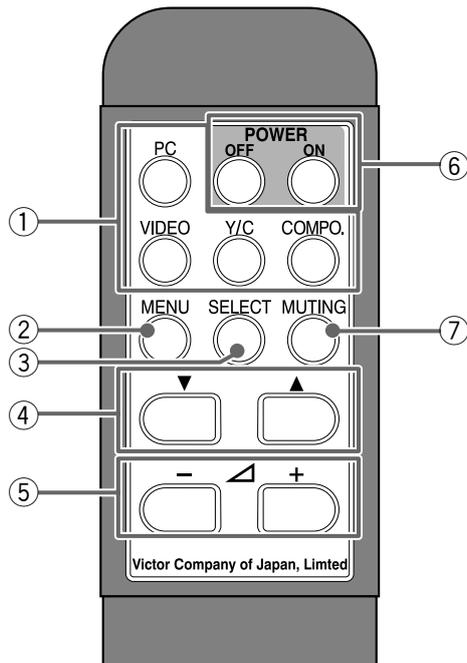
ケンジントン社製及び互換の各社製のセキュリティケーブルを取り付けるためのスロットです。

お知らせ

- 10ページの「基本接続」もよくご覧ください。

各部のなまえと使いかた (つづき)

リモコン



① 入力選択ボタン

入力を選択するボタンです。

入力選択ボタン	選択している入力端子
PC	PC端子
VIDEO	VIDEO端子
Y/C	Y/C端子
COMPO.	Y/B-Y/R-Y端子

② MENUボタン

MAIN MENU画面を表示させるときに押します。

- メニューを表示しているときに押すと、1つ前のメニュー画面に戻ります。

③ SELECTボタン

メニュー操作に使うボタンです。

- MAIN MENU画面を表示しているときに押すと、選んでいる項目のサブメニューを表示させます。
- サブメニューを表示しているときに押すと、選んでいる項目の調節画面を表示させます。
- 調節画面を表示しているときに押すと、設定値を決定し、サブメニューに戻ります。

④ ▼/▲ボタン

メニュー画面で項目を選ぶボタンです。

- メニュー画面を表示していないときに▲ボタンを押すと、パソコン信号の自動調節を行います。(12ページ参照)

⑤ +/−ボタン

音量調節ボタンです。

- サブメニューを表示しているときに押すと、選んでいる項目の調節画面を表示させます。
- メニューの調節画面を表示しているときに押すと、設定値を調節します。

⑥ POWER ON/OFFボタン

ON: 本機の電源を「入」にします。

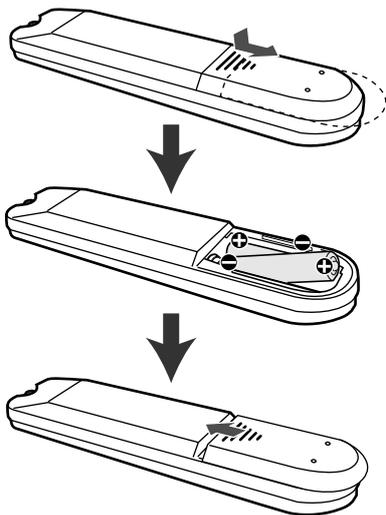
OFF: 本機の電源を「切」にします。

⑦ MUTINGボタン

音声を消すボタンです。

- もう一度押すと音声がかえりようになります。

リモコンに乾電池を入れるには



乾電池の使いかたに注意

乾電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので種類の違う乾電池は混ぜて使わない。
- 乾電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示どおりに入れる。
- 乾電池を入れるときは、ショートを防ぐため、必ず乾電池のマイナス(-)側を先に入れる。
- 指定された乾電池以外は使わない。
- 長期間使用しないときには、乾電池を取り出しておく。
- 乾電池が消耗して使えなくなったときは、すぐに取り出して交換する。

液漏れの原因になったり、液漏れによって故障の原因となることがあります。また、漏れた液が肌に触れるなどしたときは、布で拭き取ります。そのままにしておくと、肌が荒れる原因となることがあります。

- 乾電池を火の中へ入れたり、充電したりしない。
- 乾電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属の乾電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったなら、新しい乾電池に交換してください。

設置

ご注意

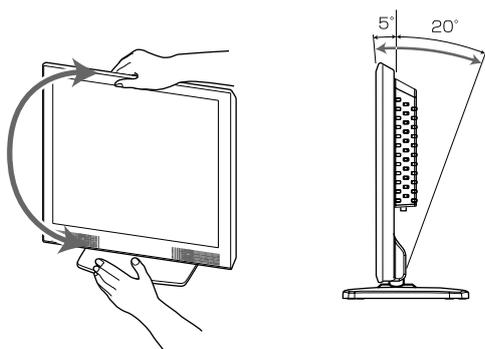
- 本機に肘を掛けたり、寄り掛かったりしないでください。
- 設置するときに、液晶部分を持たないでください。
- 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

スタンドの起こしかた

- ・ 本体背面をしっかり押さえてください。
- ・ 液晶パネルを傷つけないように、布などを敷いて行ってください。



傾けるときはスタンドをしっかり押さえ、液晶部分を持たずにゆっくりと傾けてください。



ご注意

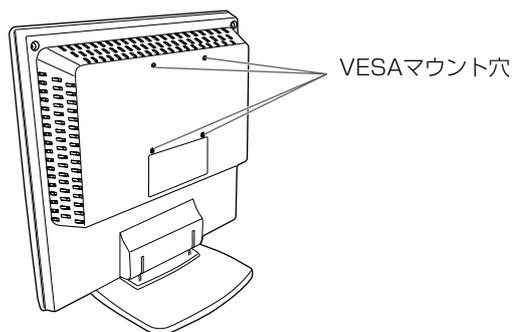
- 傾げるときに、本体とスタンドの間に指をはさまないようにご注意ください。

壁面への取り付け

別売りのビクター製ウォールマウンティングユニット(TS-CV10W)で、本機を壁に取り付けることができます。また、市販のVESA規格に準拠した壁掛け金具もご使用いただけます。

ご注意

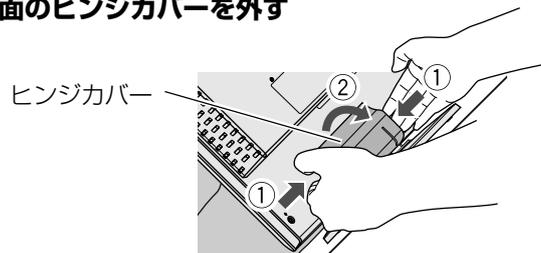
- 壁面への取り付けは、専門の業者にご依頼ください。



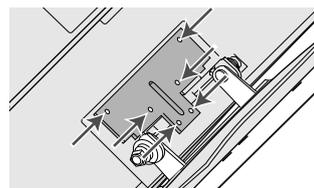
本機を壁に取り付けるときは、下記の手順に従ってスタンドを取り外します。

- ・ 使用する壁掛け金具によっては、ディスプレイを前に傾けたときに、背面下部のヒンジカバーが壁に当たる場合があります。その場合はヒンジカバーを取り外してご使用ください。

1 背面のヒンジカバーを外す



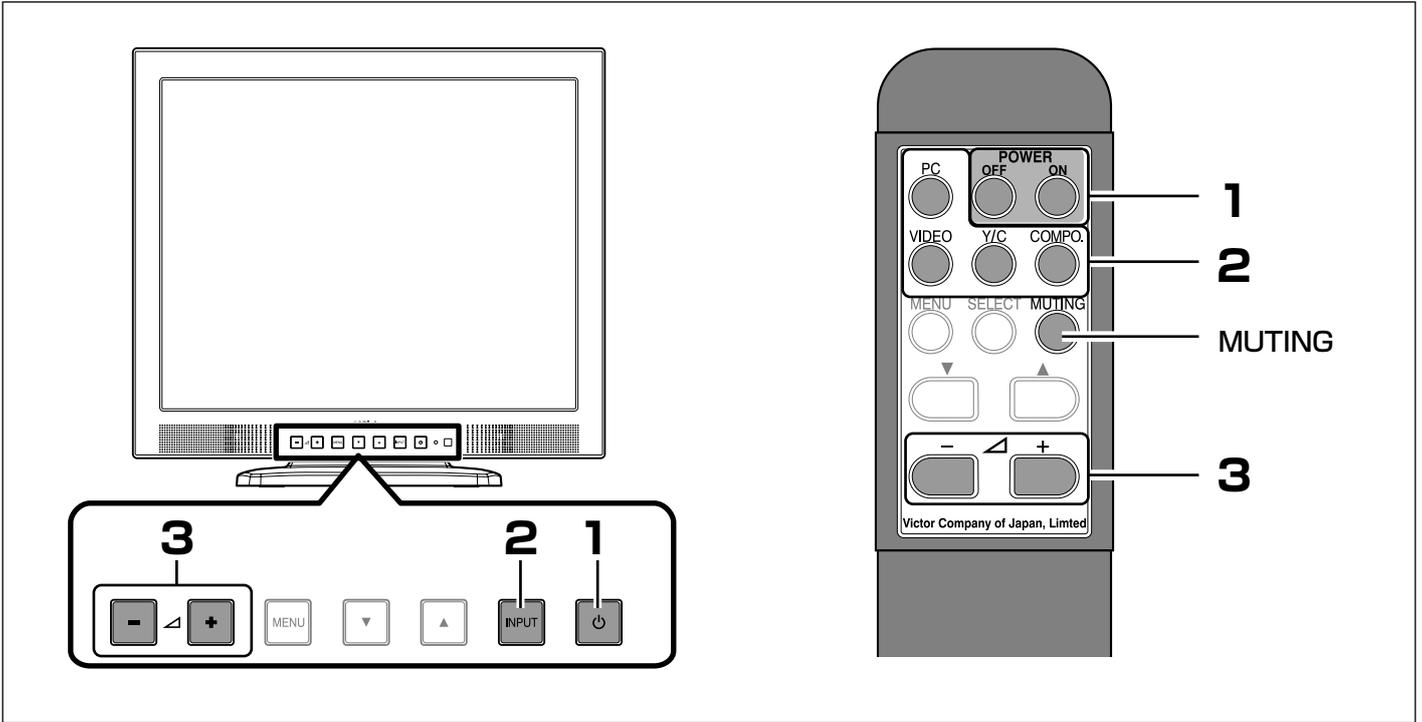
2 スタンドを固定しているネジを取り外してスタンドを取り外す



3 1で取り外したヒンジカバーを取り付ける



基本操作



<本体での操作>

- 1 電源ボタンを押して電源を「入」にする
電源ランプが緑色に点灯します。
- 2 INPUTボタンをくり返し押し、映像入力を選択する
押すごとに次のように入力が切り換わります。



入力	選択している入力端子
PC	PC端子
Video	VIDEO端子
Y/C	Y/C端子
Component	Y/B-Y/R-Y端子

3 +/−ボタンを押して音量を調節する

- 電源を「切」にするときは、電源ボタンを押します。電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイモードになります。

<リモコンでの操作>

- 1 POWER ONボタンを押し、電源を「入」にする
電源ランプが緑色に点灯します。
- 2 入力選択ボタンを押して入力を選ぶ

入力選択ボタン	選択している入力端子
PC	PC端子
VIDEO	VIDEO端子
Y/C	Y/C端子
COMPO.	Y/B-Y/R-Y端子

3 +/−ボタンを押して音量を調節する

- MUTINGを押すと消音できます。
- 電源を「切」にするときは、POWER OFFボタンを押します。電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイモードになります。

お知らせ

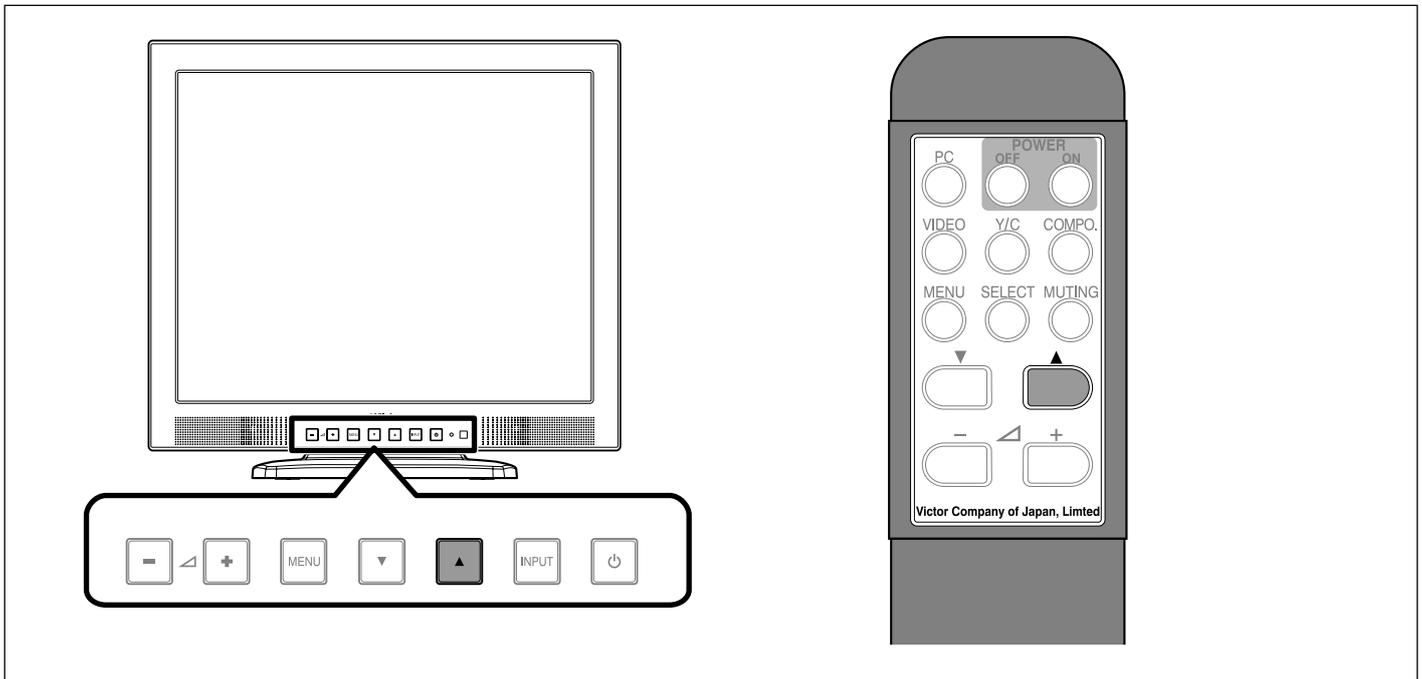
- 映像信号が入力されていないときは、画面に「NO SYNC」と表示されます。その状態が10～15秒前後続くと、省電力モードになります。(電源ランプがオレンジ色に点滅します。)
- 入力信号が規格外のときは、画面に「out of range!」と表示されます。その状態が10～15秒前後続くと、省電力モードになります。(電源ランプがオレンジ色に点滅します。)
- パソコンに接続するとき、専用ドライバのインストール要求が表示されることがあります。その場合はパソコンの画面設定を変えるなどしてください。詳しくは、12ページをご覧ください。

基本操作 (つづき)

パソコン信号入力の自動調節

パソコンからPC端子に映像信号を入力するときは、最初に自動調節(オートアジャスト)を行ってください。入力された映像信号に合わせて自動的に映像調節を行います。

・パソコンからの映像信号を変更するごとに、自動調節を行ってください。



<本体・リモコンでの操作>

メニュー画面を表示していない状態で、

▲ ボタンを押す

AUTO ADJUST画面が表示され、自動調節を行います。



お知らせ

- 自動調節で十分な画質が得られないときは、「POSITION ADJ.」メニューの各項目を調節してください。(17ページ参照)
- パソコン信号入力時以外は、自動調節は必要ありません。
- 動きの激しい映像のときは、自動調節が正しく働かないことがあります。動きの少ない映像のとき行なってください。
- 各メニュー項目の設定変更は、自動調節終了後に行なってください。
- 自動調節はMAIN MENUの「AUTO ADJUST」項目で行なうこともできます。(17ページ参照)

■ パソコンからの映像入力信号について

PC端子には、次の解像度の信号を入力することができます。(下記の信号がプリセットされています。)

画面解像度	垂直周波数 (リフレッシュレート)
VGA 640×350	70 Hz
640×480	60 Hz
SVGA 800×600	56 Hz
800×600	60 Hz
XGA 1024×768	60 Hz
1024×768	70 Hz
SXGA 1280×1024	60 Hz
US TEXT 720×400	70 Hz
Macintosh 640×480	67 Hz

- ・ 画面表示は解像度1280×1024を推奨します。コンピューターなどの解像度調節では、1280×1024を選択してください。
- ・ パソコンからの映像信号を入力するときは、必ず最初に自動調節(上記)を行なってください。
- ・ 左の表にない映像信号のときは、自動調節機能(上記)をお使いください。
- ・ 十分な画質が得られないときは、「POSITION ADJ.」メニューの各項目を調節してください。

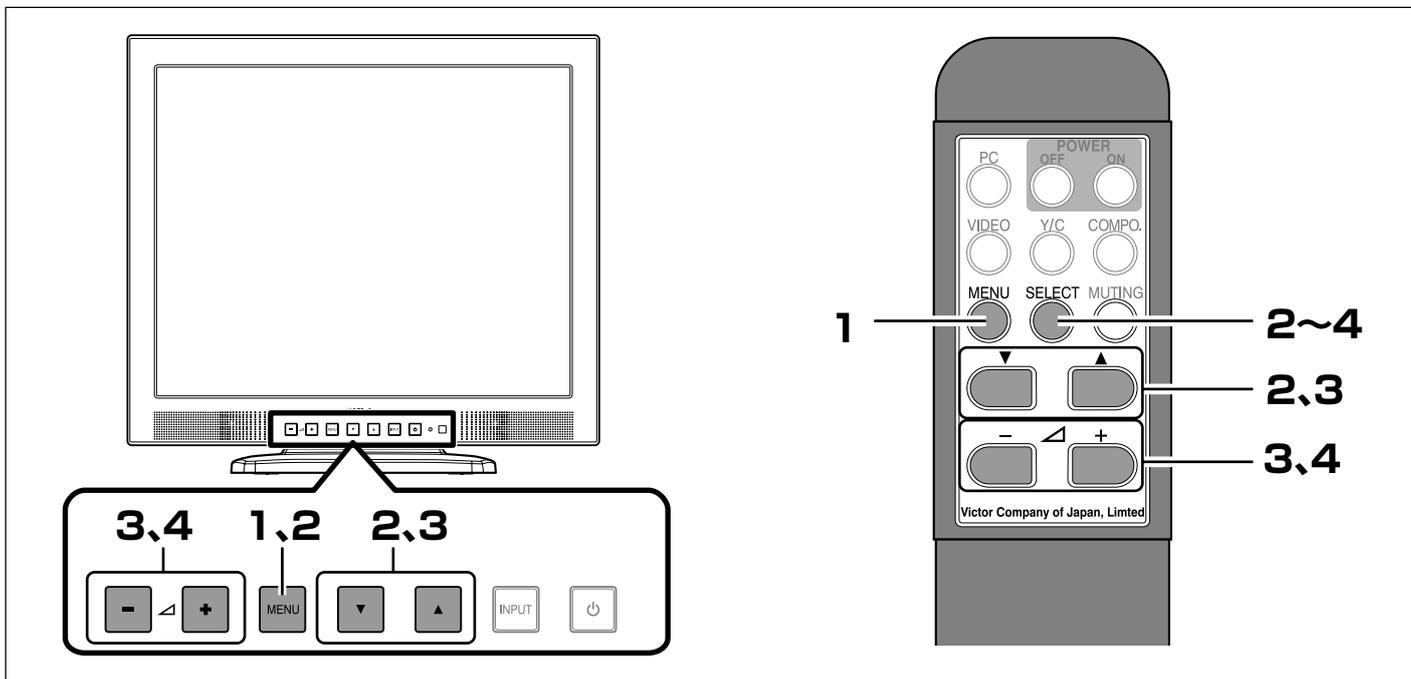
メニュー機能の使いかた

メニューの基本操作

メニューの構成と各項目の詳細については14～17ページをご覧ください。

お知らせ

- 「[NO SYNC]」と表示されているときは、メニュー画面は表示できません。



<本体での操作>

- 1 MENUボタンを押す**
MAIN MENU画面が表示されます。
- 2 ▼/▲ボタンで調節したいサブメニューを選び、MENUボタンを押す**
サブメニューが表示されます。
- 3 ▼/▲ボタンで調節したい項目を選び、+/-ボタンを押す**
選んだ項目の調節画面が表示されます。
- 4 +/-ボタンを使って調節する**
・MENUボタンを押すと、設定値を決定し、手順2の画面に戻ります。

MAIN MENU画面に戻るには

- ▼ / ▲ボタンで「Exit」を選び、MENUボタンを押す

お知らせ

- 手順4で設定をキャンセルするときは、リモコンのMENUボタンを押して手順2の画面に戻ります。

<リモコンでの操作>

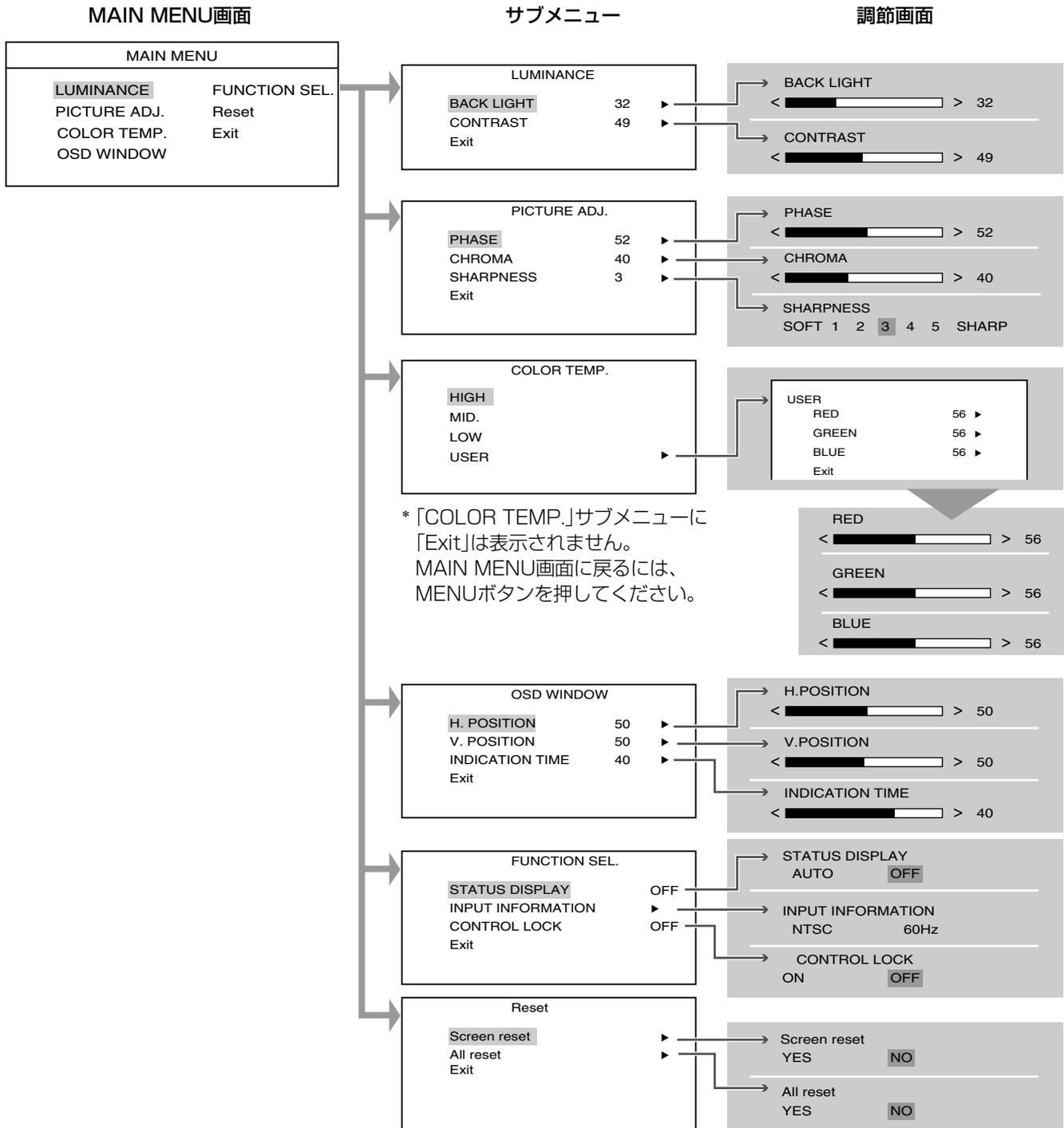
- 1 MENUボタンを押す**
MAIN MENU画面が表示されます。
- 2 ▼/▲ボタンで調節したいサブメニューを選び、SELECTボタンを押す**
サブメニューが表示されます。
- 3 ▼/▲ボタンで調節したい項目を選び、SELECTボタンまたは+/-ボタンを押す**
選んだ項目の調節画面が表示されます。
- 4 +/-ボタンを使って調節し、SELECTボタンを押す**
設定値を決定し、手順2の画面に戻ります。

MAIN MENU画面に戻るには

- MENUボタンを押す
または
▼/▲ボタンで「Exit」を選び、SELECTボタンを押す

メニュー機能の使いかた (つづき)

メニュー構成(ビデオ入力するとき)



ビデオ入力の際のメニュー詳細

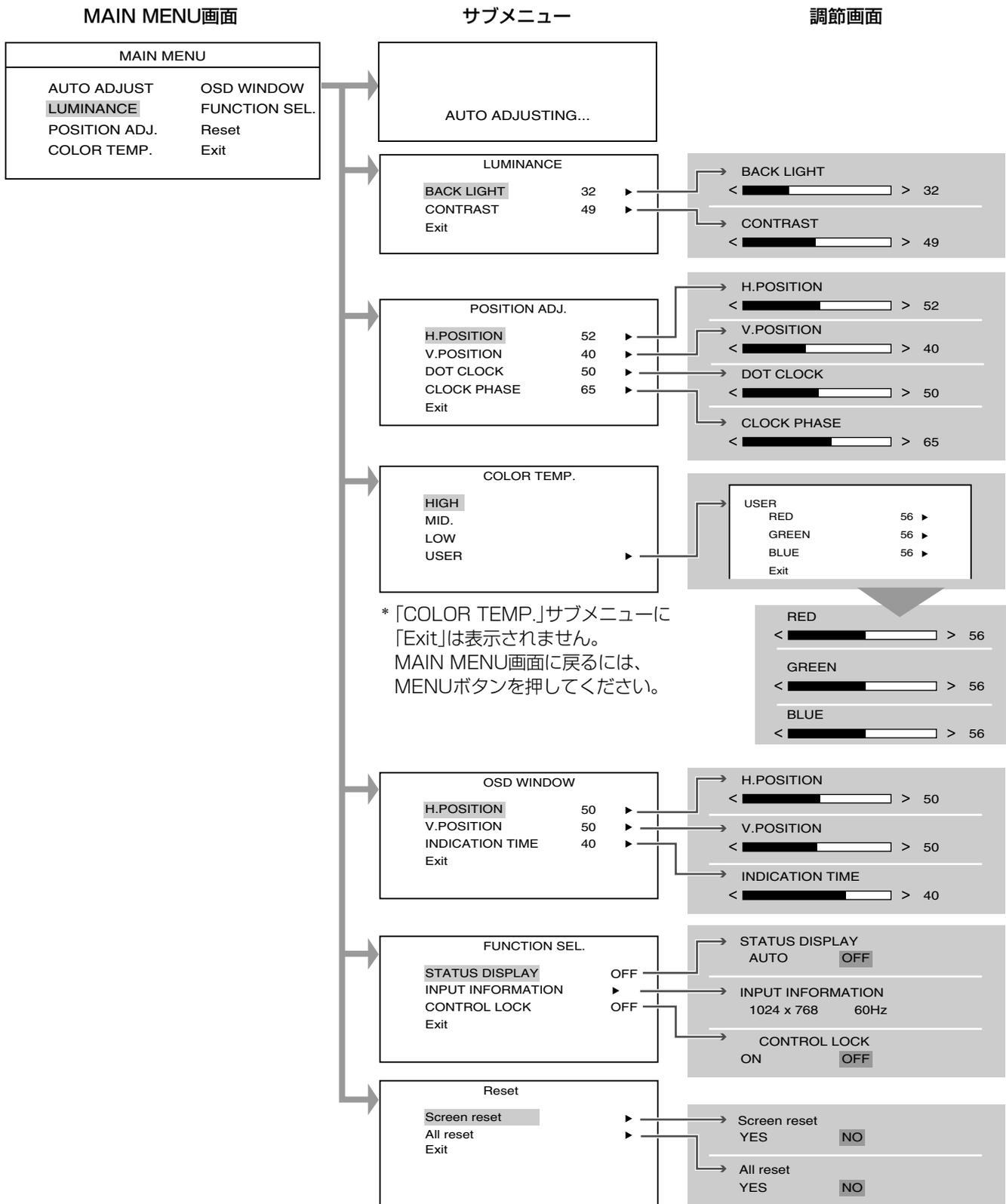
メニュー/項目名		内容	調節範囲
LUMINANCE	BACK LIGHT	バックライトの明るさの調節	0 ↔ 100
	CONTRAST	映像のコントラストの調節	0 ↔ 100
PICTURE ADJ.	PHASE	フェイズの調節	0 ↔ 100
	CHROMA	色の濃さの調節	0 ↔ 100
	SHARPNESS	映像の輪郭の調節	1 ↔ 5
COLOR TEMP.	HIGH	色温度を「HIGH」に設定	—
	MID.	色温度を「MID.」に設定	—
	LOW	色温度を「LOW」に設定	—
	USER	映像の明るい部分のホワイトバランス(RGB)を各々調節	—
	RED	レッドの調節	0 ↔ 100
	GREEN	グリーンの調節	0 ↔ 100
	BLUE	ブルーの調節	0 ↔ 100
OSD WINDOW	H. POSITION	メニュー画面の水平位置の調節	0 ↔ 100
	V. POSITION	メニュー画面の垂直位置の調節	0 ↔ 100
	INDICATION TIME	メニュー画面の表示時間の設定	3 ↔ 60
FUNCTION SEL.	STATUS DISPLAY	ステータス表示(現在選んでいる入力)のオン/オフ設定。「AUTO」に設定すると、電源を入れたときと、入力を切り換えたときにステータスを表示します。	AUTO, OFF
	INPUT INFORMATION	現在入力している信号のカラーシステムと垂直周波数を表示	—
	CONTROL LOCK	すべての本体操作を禁止します。(リモコンでは操作できません。)	ON, OFF
Reset	Screen reset	LUMINANCE、PICTURE ADJ.、COLOR TEMP.のすべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。「YES」を選ぶと、確認画面が表示されます。	YES, NO
	All reset	すべての設定値を工場出荷時の設定に戻します(ビデオ入力とPC入りに共通です)。「YES」を選ぶと、確認画面が表示されます。	YES, NO

お知らせ

- PHASE調節はカラーシステムがNTSCのときのみ表示されます。
- CHROMA調節はカラーシステムがNTSCまたはPALのとき表示されます。
- COLOR TEMP.のRED、GREEN、BLUEは、COLOR TEMP.サブメニューで「USER」を選択したときのみ設定できます。
- コントロールロックを解除するときは、リモコンで「OFF」に設定し直してください。(本体のボタンで解除するときは、+ボタン、-ボタン、MENUボタンを同時に押すと、コントロールロックのメニュー画面が表示されます。「OFF」に設定し直してください。)

メニュー機能の使いかた (つづき)

メニュー構成(PC入力するとき)



PC入力の際のメニュー詳細

メニュー/項目名		内容	調節範囲
AUTO ADJUST		パソコンからの映像の自動調節(12ページ参照)	YES ↔ NO
LUMINANCE	BACK LIGHT	バックライトの明るさの調節	0 ↔ 100
	CONTRAST	映像のコントラストの調節	0 ↔ 100
POSITION ADJ.	H. POSITION	映像の画面上での水平位置の調節	0 ↔ 100
	V. POSITION	映像の画面上での垂直位置の調節	0 ↔ 100
	DOT CLOCK	クロックの調節	0 ↔ 100
	CLOCK PHASE	フェイズの調節	0 ↔ 100
COLOR TEMP.	HIGH	色温度を「HIGH」に設定	—
	MID.	色温度を「MID.」に設定	—
	LOW	色温度を「LOW」に設定	—
	USER	映像の明るい部分のホワイトバランス(RGB)を各々調節	—
	RED	レッドの調節	0 ↔ 100
	GREEN	グリーンの調節	0 ↔ 100
	BLUE	ブルーの調節	0 ↔ 100
OSD WINDOW	H. POSITION	メニュー画面の水平位置の調節	0 ↔ 100
	V. POSITION	メニュー画面の垂直位置の調節	0 ↔ 100
	INDICATION TIME	メニュー画面の表示時間の設定	3 ↔ 60
FUNCTION SEL.	STATUS DISPLAY	ステータス表示(現在選んでいる入力)のオン/オフ設定。「AUTO」に設定すると、電源を入れたときと、入力を切り換えたときにステータスを表示します。	AUTO, OFF
	INPUT INFORMATION	現在入力している信号の解像度と垂直周波数を表示	—
	CONTROL LOCK	すべての本体操作を禁止します。(リモコンでは操作できません。)	ON, OFF
Reset	Screen reset	LUMINANCE、PICTURE ADJ.、COLOR TEMP.のすべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。「YES」を選ぶと、確認画面が表示されます。	YES, NO
	All reset	すべての設定値を工場出荷時の設定に戻します(ビデオ入力とPC入りに共通です)。「YES」を選ぶと、確認画面が表示されます。	YES, NO

お知らせ

- COLOR TEMP.のRED、GREEN、BLUEは、COLOR TEMP.サブメニューで「USER」を選択したときのみ設定できます。
- コントロールロックを解除するときは、リモコンで「OFF」に設定し直してください。(本体のボタンで解除するときは、+ボタン、-ボタン、MENUボタンを同時に押し、コントロールロックのメニュー画面が表示されます。「OFF」に設定し直してください。)

■ 故障かなと思ったら (トラブルシューティング)

修理をご依頼される前に、次の点をお調べください。

症状	ここを確認してください	対処方法
電源が入らない	電源プラグがゆるんだり、はずれたりしていませんか。	電源プラグを確実に差し込んでください。
映像や音声が出ない、または乱れる	接続機器から、信号が出ていますか。	接続機器を正しく設定してください。
	入力の切り換えは正しいですか。	入力選択ボタンで入力を切り換えてみてください。(11ページ参照)
	接続ケーブルがはずれていませんか。	接続ケーブルを確実に接続してください。(10ページ参照)
	「out of range!」と表示されていませんか。	「パソコンからの映像入力信号について」を参考にパソコンの画面解像度を設定し、自動調節を行なってください。(12ページ参照)
色が見つからない、色がおかしい、映像が暗い	画像調整(LUMINANCE、PICTURE ADJ.、COLOR TEMP.の各項目)が変わっていませんか。	「Screen reset」で各画像調整を標準にしてみてください。(13～17ページ参照)
「NO SYNC」と表示される	接続機器からの映像信号が入力されていません。(ディスプレイが同期信号を検出できません。)	接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境(ビデオデッキの映像出力設定やパソコンのグラフィックボードなど)を確認してください。
本体で操作ができない	コントロールロック機能がオンになっていませんか。	リモコンで、メニューからコントロールロックを解除してください(13～17ページ参照)。
パソコン接続時に、専用ドライバのインストール要求が出る	—————	<ul style="list-style-type: none"> お使いのパソコンのビデオカードのドライバ(ビデオカードに付属)を使用してください。 または 本機を標準ディスプレイに設定してください。 推奨画面設定モード: 1280×1024、60 Hz

このようなときは故障ではありません

- 部屋の温度変化により、本機から「ミシッ」という音がすることがあります。画面に異常がなければ心配はありません。
- 静止画を長時間表示していると、電源を切ったり、画面を切り換えても映像がぼんやりと映っていることがあります。この残像現象はしばらくすると消えます。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。

■ 主な仕様

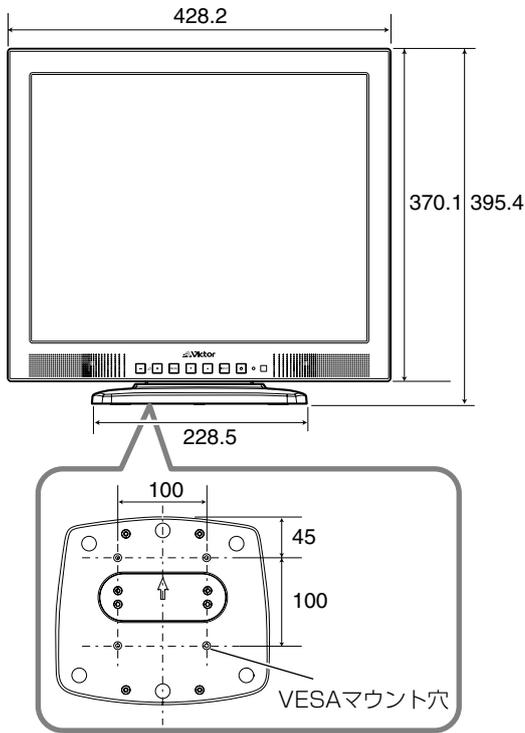
型名		GD-19L1	GD-17L1
種類		液晶ディスプレイ	
液晶パネル		19型、フラットタイプ、 アクティブマトリックス TFT	17型、フラットタイプ、 アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法		横幅 376.3 mm 高さ 301.1 mm	横幅 337.9 mm 高さ 270.3 mm
画素数 (解像度)		1280×1024ピクセル	1280×1024ピクセル
最大表示色		1670万色	1670万色
パソコン走査周波数		水平: 31.5 kHz ~64 kHz(アナログ)、 垂直: 56 Hz ~70 Hz(アナログ)	水平: 31.5 kHz ~64 kHz(アナログ)、 垂直: 56 Hz ~70 Hz(アナログ)
		* この周波数の範囲内でもパソコンによっては映らない場合があります、その場合は「out of range!」と表示されます。	
有効視野角		左右: 178° (89° ~89°)、 上下: 178° (89° ~89°)	左右: 160° (80° ~80°)、 上下: 160° (80° ~80°)
入力端子	映像	Y/B-Y/R-Y	コンポーネントビデオ: 1系統、RCAコネクター×3 Y: 1.0 V(p-p)、75 Ω B-Y/R-Y: 0.7 V(p-p)、75 Ω
		Y/C	Sビデオ: 1系統、ミニDIN4ピンコネクター×1 Y: 1.0 V(p-p)、75 Ω C: NTSC 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω PAL 0.3 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
		VIDEO	コンポジットビデオ: 1系統、RCAコネクター×1 1.0 V(p-p)、75 Ω
		PC	アナログ RGB: D-sub (15ピン) ×1、0.7 V (p-p)、75 Ω
	音声	AUDIO L/R	RCAコネクター×2、500 mV(rms)、10 kΩ
		AUDIO (PC) STEREO	ステレオミニジャック×1 (3.5φ)、500 mV(rms)、10 kΩ
対応映像信号フォーマット		Y/B-Y/R-Y端子: 480/60i、576/50i Y/C端子、VIDEO端子: NTSC、PAL PC端子: 12ページの「パソコンからの映像入力信号について」をご覧ください。	
音声出力		内部スピーカー: 2W+2W	
環境条件		使用周囲温度: 0°C ~ 40°C 使用周囲湿度: 20% ~ 85% (非結露)	
使用電源		AC 100 V、50 Hz / 60 Hz共用	
消費電力		45 W	40 W
外形寸法 (突起部を除く)		横幅 428.2 mm 428.2 mm 高さ 370.1 mm 395.4 mm 奥行 72.5 mm 200 mm (本体のみ) (スタンドを含む)	横幅 388.2 mm 388.2mm 高さ 340 mm 363.6 mm 奥行 66 mm 192 mm (本体のみ) (スタンドを含む)
質量		約 6.5 kg(本体のみ) 約 7.3 kg(スタンドを含む)	約 5.2 kg(本体のみ) 約 5.9 kg(スタンドを含む)
付属品		電源コード(約 2 m)×1、リモコン×1、乾電池×2、BNC変換コネクター×1、ディスプレイケーブル×1(D-sub 15ピン)、転倒防止用フック×2	

■主な仕様 (つづき)

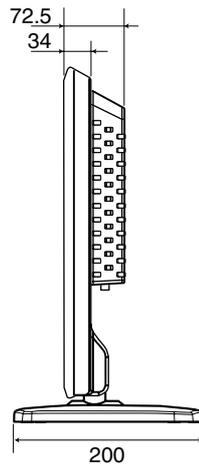
■外形寸法図 (単位: mm)

GD-19L1

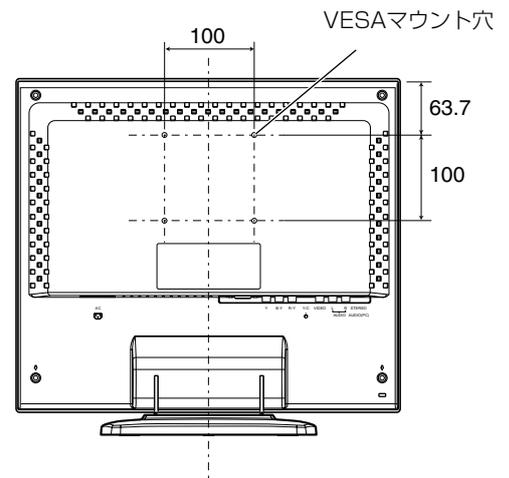
<前面>



<側面>

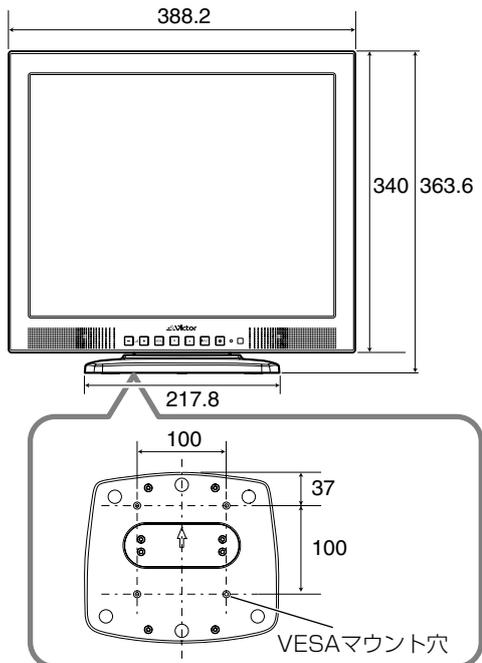


<背面>

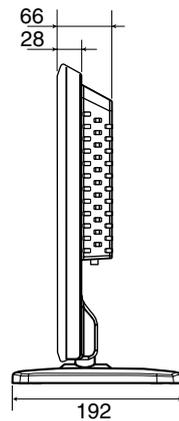


GD-17L1

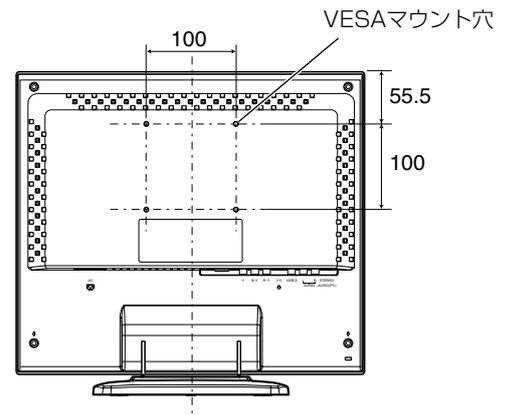
<前面>



<側面>



<背面>



※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This display set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ LCDパネルは非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素の欠けや常時点灯するものがあります。あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、消耗品などについては保証対象外です。

補修用性能部品の最低保有期間

ディスプレイの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に18ページの「故障かなと思ったら」にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品名	液晶ディスプレイ
型名	GD-19L1/GD-17L1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

■修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のモニター・テレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用中

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、21ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
<p>21ページをご覧ください。</p>	<p>お客様ご相談センター</p> <p><small>フリーダイヤル</small>  0120-2828-17</p> <p>携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は</p> <p>電話 (045) 450-8950 FAX (045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12</p>

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12